

# 表丹沢方面：塔ノ岳（表尾根・大倉尾根）【ヘリ運搬作業】令和2年3月2日・3日

## ＜県民協同型登山道維持管理補修ヘリ運搬作業＞

- 神奈川県は登山道の補修整備に関して、みろく山の会や自然公園指導員連絡会等の団体との間で協定を結んでいます。各団体はそれぞれ担当する区間が決まっています。パークレンジャー2名は、その補修整備に使う資材のヘリコプターでの空輸作業の手伝をしました。

＜3月2日＞

- ヘリポートとして利用した戸沢で、モッコで資材を包みます。モッコとはヘリコプターで空輸するときを使う大きなネットのことです。



- 詰め終わったモッコの重さを、大きな秤で計量します。今回利用するヘリコプターは、最大で800キロまで運べるそうです。モッコは全部で9枚作りました。

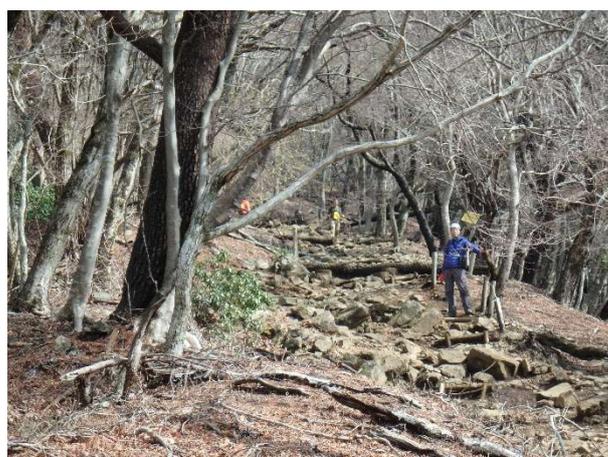


<3月3日>

●ヘリコプターが低空で荷物を下ろすとき風速 30 から 40 メートルの吹き下ろし気流が発生します。空輸地ではブルーシートを敷いて上空から見えるように目印にしますが、強風に飛ばされないようにしっかり固定します。



●登山者には荷下ろしの間通行をお待ちいただくことになるので、案内の掲示や係員を配置します。



●ヘリコプターが資材を運んで来ました。



●荷下ろしの合図を送るシグナルマンは、目立つように蛍光色系の服を着て作業します。



●降ろしたモッコを開いて、中の資材を片付けます。これでモッコ 3 枚分です。



●使い終わったモッコは作業員が担いで下ろします。

モッコ 1 枚は乾燥していれば 20 キロ程度の重さですが、前日、作業の時に雨が降っていたので雨水を吸い込んで重くなり、他の荷物と合わせると 30 キロ以上はあったと思います。



●塔ノ岳の大倉尾根と表尾根に合計モッコ 5 枚を空輸しました。大山にもモッコ 3 枚分の資材を空輸する予定でしたが、十分な視界が得られなかったので後日延期になりました。